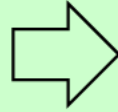


レタスの契約出荷と促成アスパラガス栽培の導入により経営を安定化 ～久保 優寿 氏～

経営体の概要

事業実施前：平成4年
基幹作物：レタス、キャベツ、
はくさい
経営面積：4.0ha



現在：平成27年
基幹作物：レタス、
アスパラガス
経営面積：11.0ha

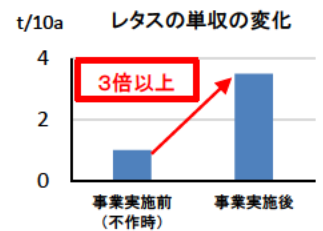
取組の経緯と経営転換のポイント等

畑地かんがいの利用により、露地レタスの生育確保と病害虫の発生抑制が可能となり収量が安定したことから、レタスの契約出荷が可能になった。また、作期があまり重ならないアスパラガスを新規導入し、畑地かんがいを利用したハウスによる促成栽培を行い、他産地と競合が少ない時期の出荷を実現している。

営農改善のポイント

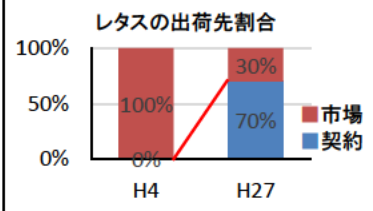
① 単収の向上

事業実施前のレタス生産では干ばつや病害虫の発生により不安定であったが、畑地かんがいの利用により定植後の初期生育が安定し、効果的・効率的な薬剤防除が可能となり、現在は単収が向上して安定した収量となっている。



② 流通・販売の工夫

事業実施前はレタスの収量が不安定であったことからすべて市場出荷であったが、事業実施後は収量が安定したことから契約出荷に取り組み、出荷量の7割を占めるまでになっている。市場出荷については単価が高くなる時期（8月下旬）を考慮して出荷量を確保するように取り組んでいる。



③ 作物の変化

基幹作物のレタスと作期があまり重ならないアスパラガスを新規に導入し、畑地かんがい用水を利用したハウスによる促成栽培に取り組み、国内では競合する産地が少ない冬期間（11月下旬～翌2月中旬）の出荷を実現している。



事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：二戸市、一戸町
受益面積：2.191ha
事業期間：平成5年～平成23年
事業目的：用水改良、畑地かんがい
主要工事：ダム1箇所、揚水機場4箇所、
用水路L=83km

位置図（岩手県）



<問い合わせ先>

東北農政局
農村振興部農村環境課
電話：022-263-1111
(内線4448)

(平成28年度調査時点)